

燕市の支援制度を
紹介します

ISO9001 等認証取得支援事業

燕市ものづくり品質管理制度 (TSO) に加え、さらなる品質向上を促すため、国際規格である ISO などの取得にかかる費用を補助します。

対象経費

認証取得に必要なコンサルティング費、認証審査機関に支払う審査費など

補助率 2分の1

上限額 30万円



詳細はこちら▶

* SBT 認証取得等促進事業

企業の SBT 認証取得など、SDGs (脱炭素) に係る各種計画策定等の費用を補助することで、脱炭素経営を促進します。

対象経費

認定支援機関、コンサルタントに支払った計画策定費、研修費、各種診断費など

補助率 2分の1

上限額 30万円 (通常枠)
45万円 (SBT 認証枠)

※ SBT 認証とは：パリ協定に準じた5～15年先の温室効果ガスの削減目標を企業が設定していることを示す国際認証です。



詳細はこちら▶

●問合せ 商工振興課 新産業推進係 ☎77・8232

— 品質管理がもたらす成長戦略 —

メリットは、信頼性と生産性の向上

企業が品質管理を徹底することで得られるメリットは顧客の満足度と企業の信頼性の向上です。

品質管理体制を整えることで、製品やサービスにおける問題を早期に発見し、不良品を減らすことができます。これにより、顧客の満足度が上がり、結果として企業の信頼性も向上します。

また、生産工程がルール化されることで、作業が効率化され、コスト削減が実現し、その結果、生産性が向上します。

品質管理と国際認証の重要性

中小企業が更なる成長を促すためには、経営者が品質管理の大切さをよく理解することが必要です。その上で、次に取り組むべきことは、ISO9001などの国際的な認証を取得することです。

国際的な認証を取得することで、会社がいかに品質管理の仕組みを持っていることが証明されます。これは、たとえば普通自動車の運転免許のようなものです。運転免許がないと公道を走ることはできないのと同じように

に、認証を取得していないと競合他社と同じ土俵に乗れず、新しいビジネスのチャンスをつかむことが難しくなります。認証を取得していることで、品質の高い製品やサービスを提供していることを示すことができ、顧客からの信頼も得やすくなり、新しい取引先と仕事がいやしくなります。

これが企業の信頼性を高め、燕のものづくり産業を発展させ、未来につなげていく第一歩となります。



ものづくりの発展を担う鍵 品質管理とは何か。

「品質管理」とは、製品やサービスの品質を一定の水準に保つための取り組みのことです。主に製造業においては、顧客の要求や期待を満たし、不良品を出さないことを目的としています。

燕市のものづくり現場における品質管理の必要性について、航空・宇宙機器製品の品質管理・保証に関連するコンサルティング業務を行っている株式会社クオリテム新潟支店長の山崎健太郎さんに伺いました。



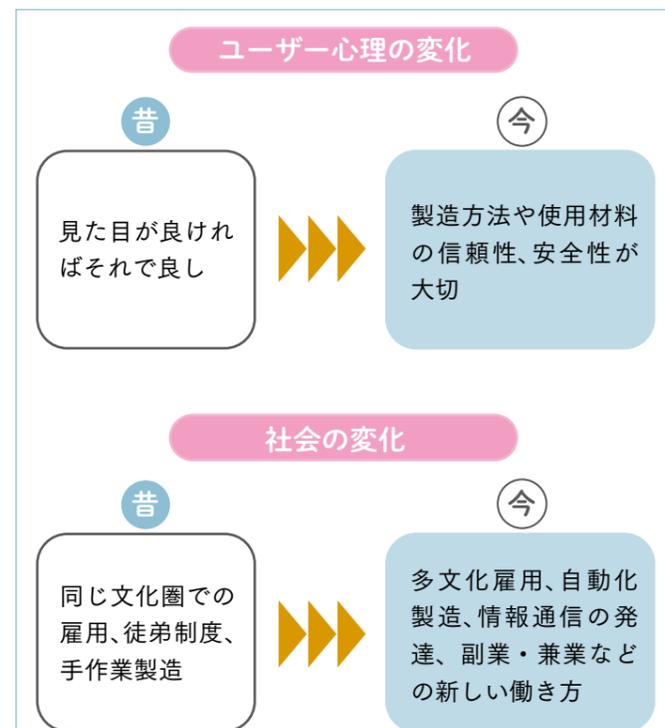
— ルール化が求められるものづくりの現場 —

ただの検査でなく、プロセス全体の改善

「品質管理」と聞くと、多くの人は「検査の仕事」を思い浮かべるかもしれませんが、ものづくり現場では、製品の品質を維持するための全てのプロセスを管理し、改善していくことを「品質管理」と言います。この取り組みは、製品の信頼性を高めるだけでなく、新しい仕事の依頼を受ける際の会社の信頼にもつながり、企業全体の競争力を強化するためにも重要です。

これまでは、熟練した職人の技術が品質を担保していましたが、現在は自動化により誰でも製品を作ることができるようになりましたが、要所では職人の経験と勘が頼りとなるケースが依然として多いのが現状です。誰が作っても同じ品質の製品を提供できるようにするためには、品質を守るためのルール化と体制づくりが重要です。

多品種小ロット生産が多い燕市のものづくり現場では、統一的なルール化が難しく、職人的な作り方が根強い印象がありますが、一方で新たに品質管理の取り組みを進める企業も増えてきています。



▶生産過程において、工具の管理(整理整頓)なども求められています。

今求められる品質とは？
品質の今と昔

かつては、完成した製品の見た目が良ければ品質は保証されるという考え方が「出来栄品質」が一般的でした。

現在では、各工程の手順を確立し、それをルール化することで品質が確保されるという考え方「プロセス品質」が重要視されています。これには左記の要因があります。